

授業科目	基礎看護学 原論		単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次前期	担当者	栞原 和恵
									職種	看護師
授業のねらい・目標	看護の概念を捉え、保健医療福祉の中での看護の役割と責務、専門性について学ぶ 1. 看護の変遷を通して看護の概念、看護の役割を理解できる 2. 健康の概念を広く捉えて理解できる 3. 看護の対象である人間の特徴と、生活者としての人間を理解できる 4. 看護の機能と役割について理解できる									
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題						方法	担当者
		1	看護学を学ぶ姿勢・看護の定義						講義	栞原
		2	看護とは何か						講義	栞原
		3	看護の歴史的変遷、職業としての看護の確立						講義	栞原
		4	看護の対象である人間について						講義	栞原
		5	健康とは何か						講義	栞原
		6	国民の健康について統計から理解する						講義	栞原
		7	看護実践のための理論的根拠について						講義	栞原
		8	看護実践のための理論的根拠についてグループワーク1						講義・GW	栞原
		9	看護実践のための理論的根拠についてグループワーク2						講義・GW	栞原
		10	グループ発表1						講義	栞原
		11	グループ発表2						講義	栞原
		12	看護における倫理について						講義	栞原
		13	医療安全と医療の質保証について						講義	栞原
		14	看護をめぐる制度と政策について						講義	栞原
		15	試験、まとめ							栞原
単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験、グループワーク									
履修上の注意	毎回授業目標に沿ったまとめを各自で行い、質問等も記入してもらいます。積極的に取り組んでください。グループワークも主体的に取り組んでください。									
テキスト	茂野香おる他著 系統看護学講座 専門分野「看護学概論」 医学書院 ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯楨ます・小玉香津子訳「看護の基本となるもの」日本看護協会出版 城ヶ端初子著「誰でも分かる看護理論」サイオ出版 田村やよひ著「私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法」 日本看護協会出版会 東京医科大学看護専門学校編「よくわかる看護者の倫理綱領」 照林社									
参考図書	薄井坦子他訳「フロレンス・ナイチンゲール看護覚え書 看護であること看護でないこと」現代社 長谷川浩他訳「トラベルビー人間対人間の看護」医学書院									

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

授業科目	地域・在宅看護論 くらしを支える看護Ⅰ くらしの場で行われる看護技術	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	押尾 智子
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	在宅における日常生活援助について、基本的なアセスメントや援助技術の方法を学ぶ。病気や障害を持ち生活することがイメージでき、対象に合わせた看護のあり方を理解する。 1. 対象特性に合わせたアセスメントができる 2. 療養者の状況に応じた援助技術の方法を理解することができる 3. 病気や障害を持ち生活することのイメージができ、必要な看護のあり方を理解することができる								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当
		1	在宅療養生活を支える基本的技術 信頼関係を築くためのマナーとコミュニケーション方法					講義	押尾
		2	在宅療養生活を支える基本的技術 信頼関係を築くためのマナーとコミュニケーション方法					演習	押尾
		3	難病を抱える療養者の療養の実際と看護①					講義	押尾
		4	難病を抱える療養者の療養の実際と看護②(ALS疾患の理解とコミュニケーション方法)					講義	押尾
		5	日常生活を支える看護技術・食					講義/演習	押尾
		6	日常生活を支える看護技術・排泄(排便等演習含む)					講義/演習	押尾
		7	日常生活を支える看護技術・清潔/物品の工夫					講義	押尾
		8	日常生活を支える看護技術・清潔/物品の工夫					演習	押尾
		9	日常生活を支える看護技術・清潔/物品の工夫					演習	押尾
		10	日常生活を支える看護技術・活動/褥瘡予防/福祉用具の活用方法					講義/演習	押尾
		11	療養の場における危機管理/安全管理					講義	押尾
		12	在宅における看取りとその課題 エンドオブライフケア					講義	押尾
		13	在宅における看取りとその課題 エンドオブライフケア					講義	押尾
		14	内服管理/介護で活躍するロボット					講義	押尾
		15	まとめ テスト						押尾
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	石田千絵他 石田千絵他	ナーシンググラフィカ ナーシンググラフィカ	地域・在宅看護論① 地域・在宅看護論②	地域療養を支えるケア 在宅療養を支える技術	メディカ出版 メディカ出版				
参考図書	押川真喜子監修 写真でわかる訪問看護 アドバンス インターメディカ 角田直枝編集 よくわかる在宅看護 学研								

授業科目	地域・在宅看護論 くらしを支える看護Ⅱ くらしの場で行われる治療と看護	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次後期	担当者	宮下宝子 中沢弥生 増田幸子
								職種	認定看護師 看護師
授業のねらい・目標	在宅看護における安全と健康危機管理について学び、医療的援助における基本的なアセスメントや援助技術の具体的な方法を学ぶ。在宅での医療処置に関する基本的な知識について習得し対象に対する教育的支援方法を理解する。 1. 在宅療養に必要な医療機器管理、異常の早期発見、観察の視点を理解することができる 2. 医療廃棄物の取り扱いや感染予防など在宅で医療処置を行う際の基本的注意 事項を理解できる 3. 在宅療養者とその家族の状況に応じた医療機器管理の教育的支援方法を理解することができる								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当
		1	在宅経管栄養法 経鼻経管栄養・胃瘻管理					講義	宮下宝子
		2	膀胱留置カテーテル管理、ストーマ管理/災害時の対応や準備含む					講義/演習	宮下宝子
		3	CAPD管理・輸液管理(中心静脈栄養・インスリン自己注射管理)管理料・使用した物品の廃棄					講義	宮下宝子
		4	在宅酸素療法(HOT) 管理指導 閉塞性肺疾患と呼吸法					講義/演習	増田幸子
		5	在宅酸素療法(HOT)NPPV 管理					講義/演習	中沢弥生(常人)
		6	気管切開管理・気管カニューレ管理・吸引の物品管理 排痰ケア含む					講義	宮下宝子
		7	人工呼吸療法(管理)HMV TPPV・NPPV管理					講義	宮下宝子
		8	試験						宮下宝子
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	石田千絵他 石田千絵他	ナーシンググラフィカ ナーシンググラフィカ	地域・在宅看護論① 地域・在宅看護論②	地域療養を支えるケア 在宅療養を支える技術					メディカ出版 メディカ出版
参考図書	押川真喜子監修 写真でわかる訪問看護 アドバンス インターメディカ 角田直枝編集 よくわかる在宅看護 学研								

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

授業科目	成人看護学 看護方法Ⅳ クリティカルケア		単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	塚田 佳代美
									職種	専任教員
授業の ねらい ・目標	人の身体には侵襲に対してホメオスタシス(恒常性)を保とうとする機能が備わっている。何らかの医療的措置を講じないと健康破綻をきたし生命の危機に陥る状態を急性状態とよび、この時期を急性期という。この生命の危機状態にある人とその家族の特徴を身体的、心理的、社会的側面から理解する。また、救命救急処置を必要とする人とその家族の看護、手術を受ける患者の術前から術後の看護を基礎的知識を踏まえて、それぞれの状態に合わせた看護実践の方法について学ぶ。 急性期看護を「救急看護」「周手術期看護」の2分野で授業構成する 1. 急性期にある対象とその家族の特徴とその支援を身体的、心理的、社会的側面から学ぶ 2. 救急医療の特徴と救急看護の役割を学ぶ 3. 救急治療を必要とする対象の状況に応じた看護の視点を学ぶ 4. 集中治療の場で行われる看護について学ぶ 5. 消化器外科を中心とした術前・術中・術後の周術期の看護を学ぶ 6. 事例展開を通して、技術演習を行い実践能力を高める									
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題						方法	担当者
		1	急性期、急性期看護の概念、急性の状態にある成人期の患者と家族の特徴と看護						講義	塚田
	救急看護	2	救急医療の特徴と救急看護の役割、緊急性と重症度のアセスメント						講義	塚田
		3	重症患者の系統的アセスメント、心肺停止状態への処置						講義	塚田
	集中治療	4	重症患者の看護(外傷、熱傷、ショック、急性中毒)						講義	塚田
		5	麻酔・手術侵襲と生体反応						GW	塚田
	手術を受ける 患者の看護	6	周手術期とは、術前の看護(不安のアセスメントと術前オリエンテーション)						講義	塚田
		7	術前看護(術後合併症のリスクアセスメント)						講義	塚田
		8	手術中の看護(手術中の安全管理、手術体位による影響と看護)						講義	塚田
		9	手術中の看護(麻酔による影響と援助:循環管理・体温管理・呼吸管理、退出時の看護)						講義・演習	塚田
		10	術後の看護(手術当日・1日目以降の観察と看護、ドレーン挿入部の処置および管理、疼痛緩和)						講義・演習	塚田
		11	術後合併症の観察と予防援助①						講義・GW	塚田
		12	術後合併症の観察と予防援助②						講義・GW	塚田
		13	腹腔鏡下胃下垂全摘術後1日目の観察とアセスメント						演習	塚田
		14	術後の看護(早期離床、日常生活の援助、食事・退院支援)						講義	塚田
		15	試験・まとめ							塚田
	単元ごととは順不同です。									
評価方法	筆記試験、講義、グループワーク、演習への参加態度により総合的に判断する。									
履修上の 注意	授業資料は実習に活用できるようにファイルに整理を行うこと。 追加の課題学習は、授業資料とともに随時整理を行うこと。 課題については提出期限を厳守すること。(時間に遅れた場合は減点の対象となる) グループワークには積極的に参加すること(減点の対象となりえる)									
テキスト	矢永勝彦 系統看護学講座 別巻1臨床外科看護総論 医学書院 林 直子 NICE 成人看護学 急性期看護1 南江堂 佐藤まゆみ NICE 成人看護学 急性期看護2 南江堂 井上智子 パーフェクト臨床実習ガイドⅠ 成人看護Ⅰ 照林社									
参考図書	中島恵美子 これならわかる 術前・術後の看護ケア ナツメ社 竹内登美子 高齢者と成人の周手術期看護 2・3 医歯薬出版株式会社 石塚睦子 よくわかる周手術期看護 学研 山本千恵 周術期看護 はじめの一步 照林社									

[illegible]

[illegible]

授業科目	老年看護学 看護方法Ⅰ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	藪崎優子 山本利恵子 松田千春
								職種	認定看護師 専任教員
授業のねらい・目標	高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を踏まえ、対象のとらえ方やアセスメントの視点、対象に合わせた看護の視点を学ぶ								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当
		1	日常生活を支える基本的活動					講義	藪崎
		2	転倒のアセスメントと看護・廃用症候群のアセスメントと看護					講義	藪崎
		3	食事食生活アセスメントと看護					講義	藪崎
		4	排泄のアセスメントと看護					講義	藪崎
		5	生活リズムを整える看護					講義	藪崎
		6	清潔のアセスメントと看護					講義	藪崎
		7	セクシュアリティと看護					講義	藪崎
		8	高齢者のヘルスアセスメント					講義	松田
		9	身体に加齢変化とアセスメント①					講義	松田
		10	身体に加齢変化とアセスメント②ロコモティブシンドローム/フレイル					講義	松田
		11	健康逸脱からの回復を促す看護高齢者に見られる身体症状とアセスメント(痛み/かゆみ/脱水/嘔吐/倦怠感)					講義	松田
		12	健康逸脱からの回復を促す看護高齢者に見られる身体症状とアセスメント(症候のアセスメントと看護)					講義	松田
		13	褥瘡予防と対処					講義	山本利
		14	褥瘡予防と対処					講義	山本利
		15	テスト まとめ						
評価方法	筆記試験 グループワークや事前事後学習などの演習レポート・参加度								
履修上の注意	老年看護学実習に向けて老年用アセスメントガイドを作成します。講義と並行して準備していくこと								
テキスト	北川公子ほか, 系看, 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院								
参考図書	奥野茂代・大西和子編集:「老年看護学 概論と看護の実践」ヌーベルヒロカワ 山田律子・井出訓編集:「生活機能からみた老年看護過程」医学書院 野溝明子著:「高齢者の解剖生理学気持ちに寄り添う仕事をするための実践知識」秀和システム								

授業科目	老年看護学 看護方法Ⅱ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次後期	担当者	木下司紗 松林洋輝 小沼由美 田井中正志
								職種	認定看護師 専任教員 外部講師
授業の ねらい ・目標	健康障害を抱え生活する高齢者への看護、健康逸脱からの回復を促す高齢者への看護を理解する 健康障害を抱え生活する高齢者を支える家族について理解する								
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当
		1	認知症のある患者の看護					講義	木下
		2	認知症のある患者の看護					講義	木下
		3	せん妄・うつ病のある患者の看護					講義	木下
		4	老年の疾患の特徴、入院、薬物療法					講義	小沼
		5	手術療法(加齢による影響)					講義	小沼
		6	手術療法・白内障・人工肛門					講義	小沼
		7	リハビリテーションを受ける高齢者の看護					講義	松林
		8	老年期のエンドオブライフケア①					講義	小沼
		9	老年期のエンドオブライフケア②					講義	小沼
		10	高齢者のヘルスプロモーション					講義	小沼
		11	高齢者のリスクマネジメント					講義	小沼
		12	身体疾患のある高齢者の看護					講義	小沼
		13	レクリエーション療法					講義	田井中
		14	レクリエーション療法					講義	田井中
		15	テスト・まとめ						小沼
評価方法	筆記試験・グループワークの参加度・事前事後学習などのレポートで総合的に判断する								
履修上の 注意									
テキスト	北川公子ほか, 系看, 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院								
参考 図書									

[illegible]

[illegible]

授業科目	小児看護学 疾患と治療		単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	武藤庫参 那須裕郷 高梨浩一郎 植田太輔
									職種	医師
授業の ねらい ・目標	健康障害を持つ小児の看護が実践できるために、専門基礎知識として小児の固有な症状や疾患について学ぶ 1. 小児によく見られる疾患の病態生理について理解する 2. 小児によく見られる疾患の検査・治療について理解する									
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題						方法	担当者
		1	染色体遺伝						講義	武藤
		2	内分泌・代謝						講義	武藤
		3	神経疾患①						講義	武藤
		4	神経疾患②						講義	武藤
		5	血液・造血器疾患、悪性腫瘍						講義	那須
		6	感染症(細菌・ウイルス)						講義	那須
		7	発達障害(精神疾患含む)						講義	那須
		8	呼吸器疾患						講義	高梨
		9	循環器疾患						講義	高梨
		10	消化器疾患						講義	高梨
		11	救急・外傷						講義	高梨
		12	新生児						講義	植田
		13	アトピー性皮膚炎						講義	植田
		14	アレルギー疾患						講義	植田
		15	腎・泌尿器						講義	植田
			試験							
単元ごととは順不同です。										
評価方法	筆記試験									
履修上の 注意										
テキスト	奈良間美保他 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 奈良間美保他 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[2]小児看護学各論 医学書院									
参考図書	小田清一編 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 小林京子編 新体系 看護学全書 小児看護学概論 小児保健 小児看護学① メヂカルフレンド社 小山真理子編 看護学基礎テキスト 看護の対象 日本看護協会出版会									

[illegible]

[illegible]

授業科目	母性看護学 原論		単位	1単位	時間数	30時間	講義期間	1年次	担当者	川合 陽子
									職種	専任教員
授業の ねらい ・目標	母性看護の対象を総合的に理解し、母性の生涯を通じた健康の保持・増進、疾病の予防、次世代育成のための看護の必要性を学び、実践の基礎をつくる。 1. 母性の概念、母性看護の対象と役割を理解する。 2. 母性看護の対象を取り巻く環境を理解する。 3. 母性のライフサイクル各期の特徴と健康問題を理解し、健康の保持・増進と疾病の予防に向けての看護の実際を学ぶ。 4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の正常経過な経過を理解し、健康の保持増進と疾病の予防に向けての看護の実際を学ぶ。 5. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の異常経過を理解し、異常の早期発見に向けての看護の実際を学ぶ。 6. 生命倫理について考える。									
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題						方法	担当者
		1	母性とは 母性の身体的特性と心理・社会的特性						講義	川合
		2	母子関係と家族発達 母性看護における主要概念(リプロダクティブヘルス/ライツ)						講義	川合
		3	母性看護における主要な概念(ヘルスプロモーション、エンパワメント)						講義	川合
		4	母性看護の考え方・あり方、Women Centerd Care、Family Centerd Care、母性看護の対象とは						講義	川合
		5	Sexality(セックスとジェンダー、人間の性行動の特徴、性反応、性の多様性)						講義	川合
		6	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状(母性看護の変遷、母性看護に関する施策・法律)						講義	川合
		7	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状(母子保健統計)						講義	川合
		8	母性のライフステージ各期の特徴と看護:思春期の身体的、心理・社会的特徴						講義	川合
		9	母性のライフステージ各期の特徴と看護:思春期の健康問題と看護(性感染症・月経困難症)						講義	川合
		10	母性のライフステージ各期の特徴と看護:思春期の健康問題と看護演習(保健指導・ピアカウンセラー体験)						演習	川合
		11	母性のライフステージ各期の特徴と看護:成熟期の身体的、心理・社会的特徴、健康問題と看護						講義	川合
		12	母性のライフステージ各期の特徴と看護:更年期・老年期の身体的、心理・社会的特徴						講義	川合
		13	母性のライフステージ各期の特徴と看護:更年期・老年期の健康問題と看護(更年期障害、尿失禁、骨粗しょう症)						講義	川合
		14	(協同授業)現代社会における母性看護の課題 母性小児協同セミナー グループワーク						講義	川合・徳山大澤・赤堀
		15	試験 思春期の健康問題と看護演習						テスト	川合
評価方法	筆記試験80点、思春期の健康問題と看護演習課題提出10点、母性・小児協同セミナーレポート・グループワーク参加状況10点、計100点で評価する。									
履修上の 注意	第14回は小児看護学との協同授業です。母性看護学原論2時間と小児看護学原論2時間の合わせて4時間の講義内容となります。母性看護学の対象はマタニティサイクルにある女性だけでなく、すべてのライフサイクルにある女性とその家族、そしてその対象の生活する地域社会をも含みます。広く母性を捉え、母性を取り巻く現状や社会情勢に目を向け、看護として今何をすべきかともに考えていきましょう。									
テキスト	森 恵美 編, 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学1, 医学書院									
参考図書	国民衛生の動向									

[illegible]

授業科目	マタニティサイクルにおけるしくみ 異常経過	単位	マタニティサイ クルにおけ るしくみ 正 常経過と合わ せて 1単位	時間数	10時間	講義期間	2年次	担当者	小松 孝之
								職種	医師
授業のねらい・目標	妊娠・分娩・産褥期の異常経過を理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	異常経過	1	妊娠期の異常(感染症、妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群)				講義	小松	
		2	妊娠期の異常(切迫流・早産、異所性妊娠、妊娠糖尿病)				講義	小松	
		3	分娩の異常(産道・娩出力の異常、胎児の異常による分娩障害、胎児の付属物の異常、分娩損傷)				講義	小松	
		4	分娩の異常(異常分娩、分娩3期・直後の異常、異常出血)				講義	小松	
		5	産褥の異常(子宮復古不全、産褥熱、産褥血栓、精神障害)				講義	小松	
		6	試験(45分)					小松	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	森 恵美 編, 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学2, 医学書院								
参考図書	坂井 建雄 編, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学, 医学書院 末広 浩 編, 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 女性生殖器, 医学書院								

[illegible]

授業科目	マタニティサイクルにおける看護看護過程・看護技術	単位	1単位	時間数	15時間	講義期間	2年次	担当者	徳山 今日子
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	母性看護学の看護展開に必要な思考と技術を身に着けることができる。 1. 産褥期・新生児期の看護過程が理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥期の看護技術が根拠をもって実施できる。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	沐浴、妊婦の計測とレオポルド触診法、新生児のバイタルサイン測定 褥婦の観察(進行性・退行性変化)のデモンストレーション				講義	徳山	
		2	協同授業 沐浴、妊婦の計測とレオポルド触診法、新生児のバイタルサイン測定 褥婦の観察(進行性・退行性変化)、乳児の身体計測の演習				演習	川合・徳山 大澤・赤堀	
		3	産褥期の看護過程				講義	徳山	
		4	産褥期の看護過程の発表				講義	徳山	
		5	新生児期の看護過程				講義	徳山	
		6	新生児期の看護過程の発表				講義	徳山	
		7	看護過程のまとめ				講義	徳山	
		8	試験					徳山	
評価方法	1. 産褥期・新生児期の看護過程課題提出状況 2. 妊娠・分娩・産褥期に関連する看護技術の演習結果 3. 終了試験								
履修上の注意	第7回は小児看護学との協同授業(演習)です。小児看護方法Ⅱ2時間と合わせて4時間の演習となります。妊娠・分娩・産褥期・新生児・乳児に関連する看護技術の演習に向けて、各自練習を行い臨むこと。								
テキスト	森 恵美 編, 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学2, 医学書院								
参考図書	堀内 成子 編, パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護, 照林社 仁志田 博司 編, 新生児学入門, 医学書院 平澤 美恵子 編, 写真でわかる母性看護技術, インターメディカ 有森 直子 編, 母性看護学Ⅱ 周産期各論, 医歯薬出版株式会社								

[illegible]

授業科目	精神看護学 原論 精神保健	単位	精神看護学原論で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次後期	担当者	田口博之
								職種	医師
授業のねらい・目標	1. 人間の心の発達を基盤に心の危機状態を学習し、心の不健康の意味と援助を考える								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当
		1	現代社会と精神保健的問題、社会病理現象(ドラッグ、ギャンブル依存症、自殺)					講義	田口
		2	さまざまな社会病理現象(対象喪失の過程 依存症、周産期のメンタルヘルス、PTSD)					講義	田口
		3	身体疾患を持つ人の心の健康					講義	田口
		4	ターミナルケア 精神保健と社会					講義	田口
		5	学校と精神保健 職場と精神保健 社会資源、災害時の精神保健					講義	田口
	単元ごとは順不同です。								
評価方法	筆記試験 40点／100								
履修上の注意									
テキスト	岩崎 弥生他編集, 精神看護学概論/精神保健, メディカルフレンド社 萱間真美編, パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護, 照林社								
参考図書									

[illegible]

授業科目	精神看護学 看護方法Ⅰ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	押尾 智子 渡邊 里佳 興津 のり子
								職種	専任教員 精神保健福祉士 保健師
授業の ねらい ・目標	精神看護の特徴と患者－看護師関係成立・発展のための方法を学ぶ 治療環境を理解し、安全管理の在り方や看護を学ぶ 1. 精神科における対象を理解する 2. 精神科におけるケアの方法を理解する 3. 看護の倫理と人権擁護を理解する 4. 入院環境と治療的アプローチを理解する 5. 精神保健活動とリハビリテーションについて理解する 6. わが国の精神保健福祉の動向と課題について理解する								
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当
		1	精神科におけるケアとは DVD鑑賞とレポート					講義	押尾
		2	DVD鑑賞とレポート					講義	押尾
		3	精神障害を持つ人と「患者－看護師関係」					講義	押尾
		4	治療的コミュニケーション(プロセスレコード解説)					講義	押尾
		5	精神科看護におけるプロセスレコードの活用					講義	押尾
		6	入院環境と安全管理					講義	押尾
		7	治療的アプローチ 薬物療法と看護					講義	押尾
		8	治療的アプローチ ECT、精神療法と看護					講義	押尾
		9	精神科リハビリテーションと看護(入院と地域をつなぐ包括的リハ含む)					講義	押尾
		10	プロセスレコードの活用 ロールプレイ					講義	押尾
		11	県立こころの医療センター見学					講義	押尾
		12	精神に健康問題を持つ患者と家族の看護					講義	押尾
		13	精神保健活動と精神保健福祉士としての役割					講義	渡邊
		14	精神保健福祉の動向と事業の内容					講義	興津
		15	テスト まとめ						押尾
	単元ごとは順不同です。								
評価方法	筆記試験80点 課題レポート20点(講義前課題、プロセスレコード、県立こころの医療センター見学)								
履修上の 注意	開講前、事前課題あり 県立こころの医療センター見学 目的 精神に健康問題をもつ患者に適した療養生活の場と現状を学ぶ。 目標 (1)経過に応じた療養生活の場を見学し、療養環境を知る。 (2)精神に健康問題をもつ患者の社会復帰活動の現状を知る。 (3)精神保健福祉法をふまえ、人権を尊重した生活環境や病棟管理の在り方を考える。 見学実施後、レポート提出								
テキスト	岩崎 弥生他編集, 精神看護学概論/精神保健, メヂカルフレンド社 岩崎 弥生他編集, 精神障害を持つ人の看護, メヂカルフレンド社 萱間真美編, パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護, 照林社								
参考図書									

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]